



みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和6年1月26日No.48

文:岡本勇人



三朝町立三朝中学校 学校だより

"夢をかなえるために"コツや要因は2つあると、小島よしお(440)さんは言いました。(1/24(水)21世紀を生き抜く中学生講演会)

1つ目は"環境づくり"です。「やらざるを得ない環境をつくる・一人でなく複数で取り組む・同じ夢を持った友と一緒に毎週〇曜日にやる」など具体例が示されました。

2つ目は"前向きな気持ち"後ろ向きな気持ちに支配されないとということです。絶対にできるという前向きな気持ちを絶やさないことです。"~のおかげで...=前向きな気持ち"と考えること。

"~のせいで..."例えば"コロナのせいで..."は後ろ向きな気持ち。授業動画おっぱぴー小学校を始めたのは"コロナのおかげで"とのこと。放送作家さんのお勧めもあったようです。「新しいことにチャレンジ・後の行動が変わってくる・事実は変わらない・後半が変わってくる・色々試すことで~でないことが分かった・無駄な時間は人生で一つもない・私はこれだ!と言う瞬間がある」等々キーワードしかお伝えできません。詳細についてはぜひともお子さまからお聴きください。アウトプットしながらインプットすることが、21世紀を生き抜く中学生に求められる力の一つとなっているので...



「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」×「全国学校給食週間」

◆ 神倉大豆のドライカレー/三朝米チュロス

1/24から1/30は「全国学校給食週間」です。町総合文化ホールロビーにはそれにちなんだ掲示物を飾っています。

三朝の学校給食は、県内産の食材が重量比の約9割を占め、その地産地消率は今や県内トップクラスとなっています。(数年前は、町内産も約3割を占めて

いました。)こうした地産地消の取り組みをとおして使われる、地元産(県内産)の"新鮮で旬な野菜"こそが、三朝の給食にとっての"おいしさのヒミツ"です。

給食週間中の主なメニューを紹介します。

1/25 神倉大豆入りトマトピラフ・三朝米チュロス(神倉大豆きなこ)、1/26 神倉大豆のドライカレー・三朝野菜のコンソメスープ、1/30 神倉豆乳鍋
学校で配布しています献立予定表をご覧ください。



「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境か」×「ものづくり」

◆ ダイナモ(発電機)とソーラー



技術家庭の技術分野で、"エネルギー変換に関する技術"を学ぶためにラジオ(手動発電機+乾電池)を作成しています。多機能防災ラジオであり、様々な機能が装備されています。いざという時に備えて、ソーラーと手動で、2通りの充電が可能とのこと。私も技術担当者から、リチウムイオン電池と乾電池(アルカリ・マンガン)の違いを聞きました。リチウムイオン電池は爆発するとのことなので、細心の注意を払いながら取り扱わねばと感じました。

※ 県立高等学校スクール・ミッションとスクール・ポリシー
<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1345004.htm>

★ 三朝中学校 HP <https://misasa-j.edumap.jp/>